

令和4年度 第1回大潟コミュニティ・スクール委員会 議事録

開催日時 場所	進行・記録	出席者
令和4年5月25日(水)	進行 黒田 匠 記録 猪田 謙	出席委員 ・川名祐貴子 ・笠原めぐみ ・竹田 未貴 ・佐藤 純子 ・井部 孝一 ・柳沢 恵子 ・高橋 道代 ・塚田 克俊 ・石田 永 ・野池 康一 ・清水 雅之 ・上野 裕文 ・大瀧 明美 ・布施 徹
<p>議事内容</p> <p>1 委員自己紹介</p> <p>2 会長、副会長、事務局長選出及びあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の選出 会長は昨年度、小学校卒の代表であったため、中学校卒から選出する。 会長に上野裕文さんか選出された。 副会長は、小学校卒から選出、当日出席している委員は新任のみのため、後日欠席している委員に意向を伺って決定する。 <p>3 議事(司会:上野会長)</p> <p>(1) 小学校から<石田校長></p> <p>【令和4年度学校経営方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザイン、教育目標「幸せな学校」 児童、教職員に「自分にとって幸せな学校とは?」と問いかけていく。 ・重点目標「分かる、できる、楽しい学びの形成」「自他を大切に行動できる心の育成」 教育課題から2つ挙げた。 まずは学力向上。本来力がある児童の力を引き出せていない。基礎学力の定着も目指す。 「家庭学習の手引き」を新たに作成し、家庭に配付した。また、授業の約束をしっかりと身に付けられるようにする。NIEの研究指定2年目となる。新聞を活用しながら、表現力や情報活用能力を伸ばしたい。11月22日(火)に成果発表会を実施する。 心の教育。自他を大切に、人間関係づくりの力、児童同士でまずは解決する力を付けたい。人権教育を充実させる。知的理解だけではなく、技能的な力を高めていく。特別活動等の中での経験をとおして互いに認め合い、支え合う力を育てる。 あいさつ、廊下の歩行、清掃について、徹底していく。 健やかな体。けがが立て続けに起きている。体育授業の充実を図りたい。 <p>【夢・志チャレンジスクールの取組】</p> <p>各学年の生活科、総合的な学習の時間を充実させる。地域の力を活かして学びを深めるとともに、学んだことを地域に返していけるようにする。今年度6年生は竹田酒造とタイアップした取組を行う。</p>		

【いじめ防止基本方針】

- ・今年度、新たに未然防止について具体的に記述。人権教育、同和教育や特別活動の充実を図り、未然防止に努めていく。

質疑応答

<上野>

- ・CS委員が来校する機会はいつか。また、CS委員会は年間何回、いつ開催されるのか。

<石田>

- ・CS委員の方はいつでも来校されてもいい。大きな行事等には案内を出す。CS委員会は年間3回、5月、9～10月、2月に予定されている。

<上野>

- ・夜の会が3回予定されている。できれば、授業参観を含めた形で行ってみてはどうか。

<野池>

- ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、実施できれば実施したい。

<川名>

- ・年に2回登校時に立っているが、昨年よりあいさつがよくなった。また、先日のチャレンジ運動会では、友達に声かけをしたり、仲間を応援したりする姿が見られた。

<佐藤>

- ・「幸せ」という言葉がいい。係活動などの学級活動、児童会活動等の時に「幸せ」という冠を付けるといい。子どもたちはどのように？と考えて道を付けることも期待できる。

<高橋>

- ・夢・志チャレンジスクールの取組について、先生方と相談をした。大潟町の中でどのように発信するのか。

<石田>

- ・生活科や総合的な学習の時間で学んだことを地域に還元していけるようにしたい。

<井部>

- ・青少年育成会議は新型コロナウイルスの影響で2年間実施できなかった。市教委と学校と連携して進めていきたい。

(2) 中学校から<野池校長>

まずもって、多くの方々からCS委員を引き受けていただき、感謝している。

【令和4年度学校経営方針】

- ・昨年から加除訂正をした。学区の概要の最後に、一文ではあるが保護者、地域の方々は学校の教育活動に大変協力的であることを加えた。
- ・学力は全国水準に向け、学校全体で取り組む。
- ・令和4年度の中学校のスローガンを「希望の場所となる学校を創ろう」とした。
- ・学校運営の方針(2)組織として行動するでは、②～⑤を加筆した。(3)職員に期待することでは、特に②のベテラン教員と若手教員が二極化している。再任用等の講師も含め、指導技術の継承に力を入れていく。また、④にも力を入れていく。
- ・(4)について新たに加筆した。生徒があこがれる教師になってほしい。

- ・(5)の③開かれた学校づくりの推進は、今年度の学校の柱と考えている。教育活動について、学校だよりを含めて積極的に情報を発信していく。②の夢や志の実現に向かって心身ともに成長するための支援として、体験活動や講演会を充実させる。地域の方々とふれあいながら2年生のまちづくりワークショップ等を通じて大潟区を盛り上げていく。
- ・中学校の現状として、来年度全学年が2学級となる見込みである。生徒数の減と共に保護者数の減、新型コロナウイルス禍、教職員の働き方改革等、現在の社会状況も含めて学校のサイズに合ったPTA活動について考えていく。
- ・上越市教委が研究指定している人権教育、同和教育が2年目となる。差別を許さない授業や意義のある講話会等を企画している。
- ・今年度から「聞こえの教室」(難聴通級指導教室)が開設された。

【いじめ防止基本方針】

- ・記載どおり。

【夢・志チャレンジスクールの取組】

- ・昨年度から障がい者スポーツの方の講話会を設定したいと考えている。今年度はどうにか実現したい。

質疑応答

<井部>

- ・学級減について話があったかどのような状況か。

<野池>

- ・1年74名、2年68名、3年82名。来年度は全学年2学級となる。

<上野>

- ・中等教育学校、附属中学校への進学は何人いるのか。

<野池>

- ・今年度は中等3名、附属2名。その他学区から4名入学した。

<高橋>

- ・職場体験については今年度どうなるのか。

<野池>

- ・市立中学校が夏季休業中、一律に5日間実施するという形をとらず、各校の裁量で行うことになる。大潟町中はこれから計画していく。

新型コロナウイルス禍の中、課題は多い。事業所さんの考えも多様である。実施できたら、人との関わりを大切にしたい。

(3) 保・小・中連携

- ・大潟区教育研究会が立ち上がっている。5月上旬に専門部会を開催した。それぞれの専門部で計画を立てて進めていく。

質疑応答

<上野>

- ・小1、中1の学校のため、連携しやすい。このような会合はどの程度開催されているか。

<石田>

- ・年に3回の専門部会が予定されている。2月3回目の専門部会で年間活動のまとめをする。

<上野>

- ・コロナ禍ではあるが、授業研究を参観し合う機会があればより充実する。

(4) その他

- ・講演会費の集金担当者合同打合せ会の開催

<高橋>

- ・小中の後援会の両方の役員をしている。地域の役員から「集金が大変」という感想が多く聞こえてくる。そこで、今年は小中合同で集金する担当が集まり、情報交換をする会を設定した。

<井部>

- ・町内によって集金方法は様々である。町内会長協議会でも話題にしたい。少しでもいい方向に。地域に合わせた方法を探る。

<野池>

- ・第2回コミュニティ・スクール委員会は、授業参観を取り入れた形を検討したい。

<上野>

- ・CSは学校の教育課程の頭脳である。学校について率直に言ったり、話し合ったりできる。フランクにいろいろに話をしたい。応援団として大瀨区の未来を担う子どもたちの育成を目指したい。

4 事務連絡

- ・新任の方には口座振込依頼書を配付。出席した方には旅費が出る。
- ・次回は9月～10月。時間や内容は検討し、後日お知らせをする。
- ・今回のCSに関する資料や議事は後日、ホームページで公開する。